

2021年11月24日
日本郵便株式会社

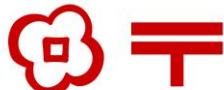
特殊切手「自然の記録シリーズ 第2集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、科学的な観点で自然由来のものが描かれた写生画などを題材とした、特殊切手「自然の記録シリーズ 第2集」を発行します。

第2集は鳥の図譜を取り上げます。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	特殊切手「自然の記録シリーズ 第2集」									
発 行 日	2022年1月24日(月)									
種 類	84円郵便切手(シール式)									
切 手 画 像	別紙のとおり									
シート構成・意匠	<p>(1) 無表記 (マクジャク) (2) 啄木鳥 木ツツキ (3) 文鳥 ブンチャウ (4) 深山少微 みやましようび / 魚狗 かはせみ翡翠也 (5) 瑞璃鳥 るりとり (6) 鶲鶴 和名ヲシリ (7) 鵠鶴 ぬゑつぐみ (8) 矮鶴 俗ニ云 チャボ (9) 小白鸕鷀 (10) 木兔 みみつく</p> <p>余白：比翼雙美鳥 俗ニ云ヒヨクノトリ 東洋文庫蔵『禽鏡』</p>									
売 価	840円(シート単位で販売します。)									
小 切 寸 法	(1) 縦37.0mm×横25.5mm (2)～(10) 縦30.0mm×横25.5mm									
印 面 寸 法	(1) 縦34.0mm×横22.5mm (2)～(10) 縦27.0mm×横22.5mm									
シート寸法	縦86.0mm×横160.0mm									
助言・監修	五十嵐 公一(大阪芸術大学 教授)									
切手デザイン	星山 理佳(切手デザイナー)									
版式刷色	オフセット6色									
発行枚数	2,000万枚(200万シート)									
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の郵便局など ・「郵便局のネットショップ」^(注) ・銀座郵便局での郵便振替による通信販売 									



2 発行する郵便切手のデザインについて

＜『禽鏡』について＞

『南総里見八犬伝』で知られる曲亭馬琴（1767～1848）は、大の愛鳥家でした。実際に多くの鳥を飼っていたらしく、鳥に関する知識も豊富でした。その馬琴が、三女「くわ」の夫である絵師・渥美覚重（赫州）に描かせたのが鳥の図譜「禽鏡」6巻です。そこには300点以上の鳥の図が緻密に描かれ、馬琴自身の解説が記されています。その中には今では見ることができない絶滅種も含まれているので貴重です。

この「禽鏡」が完成したのは天保5年（1834）でした。「禽鏡」成立の背景には江戸時代後期の博物学への関心の高まりがあり、それが江戸の読本作者・曲亭馬琴にも及んだというわけです。

＜切手のデザインについて＞

切手の意匠名は図譜に記載されたそのままの名称を記載しており、(1)のみ記載がないことから「無表記（マクジャク）」と記載しています。それぞれの下段では、現代において該当すると思われる鳥の種名、品種名をカタカナで表記し、解説します。

(1) 無表記（マクジャク）

マクジャクは、東南アジアの水辺の森林などに生息する絶滅危惧種です。オスの羽が特に美しいことで知られ、江戸時代には輸入して飼育されていたようで、人気がありました。

(2) 啄木鳥 モツツキ

キツツキ類はくちばしを使って、木を突いて穴をあけ昆虫の幼虫などを食べます。キツツキ類はのために長い舌を持っているのですが、そのことは江戸時代でもよく知られていました。図にはアカゲラが描かれています。

(3) 文鳥 ブンチャウ

インドネシア原産のブンチョウはペットとして人気が高い鳥ですが、既に江戸時代にはブンチョウを飼うブームがあり、日本で品種改良が進みました。ブンチョウは長く日本人に愛されてきましたと言えそうです。

(4) 深山少微 みやましようび / 魚狗 かはせみ翡翠也

深山少微として描かれているのは、カワセミの仲間で、全身が赤褐色のアカショウビンです。梅雨の頃、雨が降りそうな時に鳴くので雨乞鳥、水恋鳥とも呼ばれています。

魚狗として描かれているのはカワセミで、漢字で翡翠とも表記されます。水辺の上方から一気に水中に飛び込んで魚を狙うハンターでもあります。

(5) 瑠璃鳥 るりとり

瑠璃鳥として描かれているのはオオルリで、夏に日本に渡来し、冬に東南アジアで越冬します。コマドリ、ウグイスとともに鳴き声が美しい鳥として人気があります。

(6) 鶲鶴 和名ヲシトリ

オシドリはカモの仲間です。美しい羽衣の雄が描かれています。仲の良い夫婦のたとえになっていますが、カモ類一般の生態として、毎年冬ごとにパートナーを替えていることが知られています。

(7) 鶲鶴 ぬゑつぐみ

鶲鶴として描かれているのはトラツグミです。夜中に気味悪い声で鳴くためか、妖怪の「鶲（ぬえ）」という文字が名前に入っています。しかし、実際は全長30センチほどの小鳥です。



(8) 矮鶏 俗ニ云 チャボ

チャボ（矮鶏）はニワトリの品種です。ニワトリの中でも小型で、原産地はベトナム中南部のチャンパと言われます。江戸時代に日本で品種改良が進み、様々な美しい羽色のものが生まれました。

(9) 小白鸕鷀

小白鸕鷀として描かれているのは、主にインドネシア東部の島に生息する絶滅危惧種のコバタンです。全身が白く、冠羽をもつ全長30センチほどの鳥です。

(10) 木兔 みみつく

木兔として描かれているのは、フクロウ科のオオコノハズクです。頭上の左右に耳のように見えるのは、羽角（うかく）と呼ばれる羽毛の房で、耳ではありません。

3 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注)「郵便局のネットショップ」への掲載は、2022年1月24日（月）の予定です。

以上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-23-28-86（フリーダイヤル）

携帯電話から 0570-046-666（有料）

<受付時間 平日 8:00~21:00

土・日・休日 9:00~21:00>



郵政創業150年